

新中期計画について

代表取締役 会長兼CEO

和 地 孝

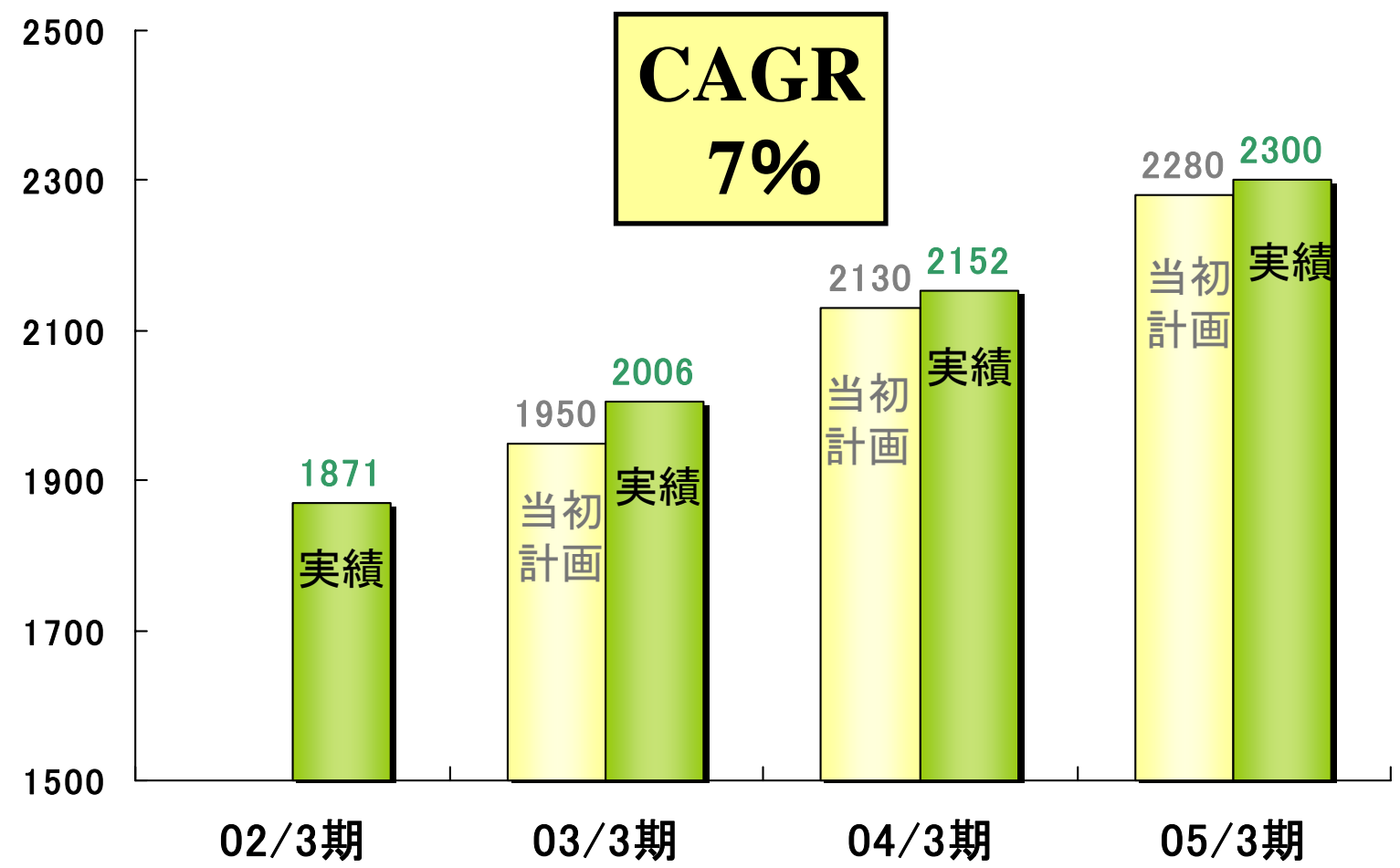
05年3月期の実績

(億円)

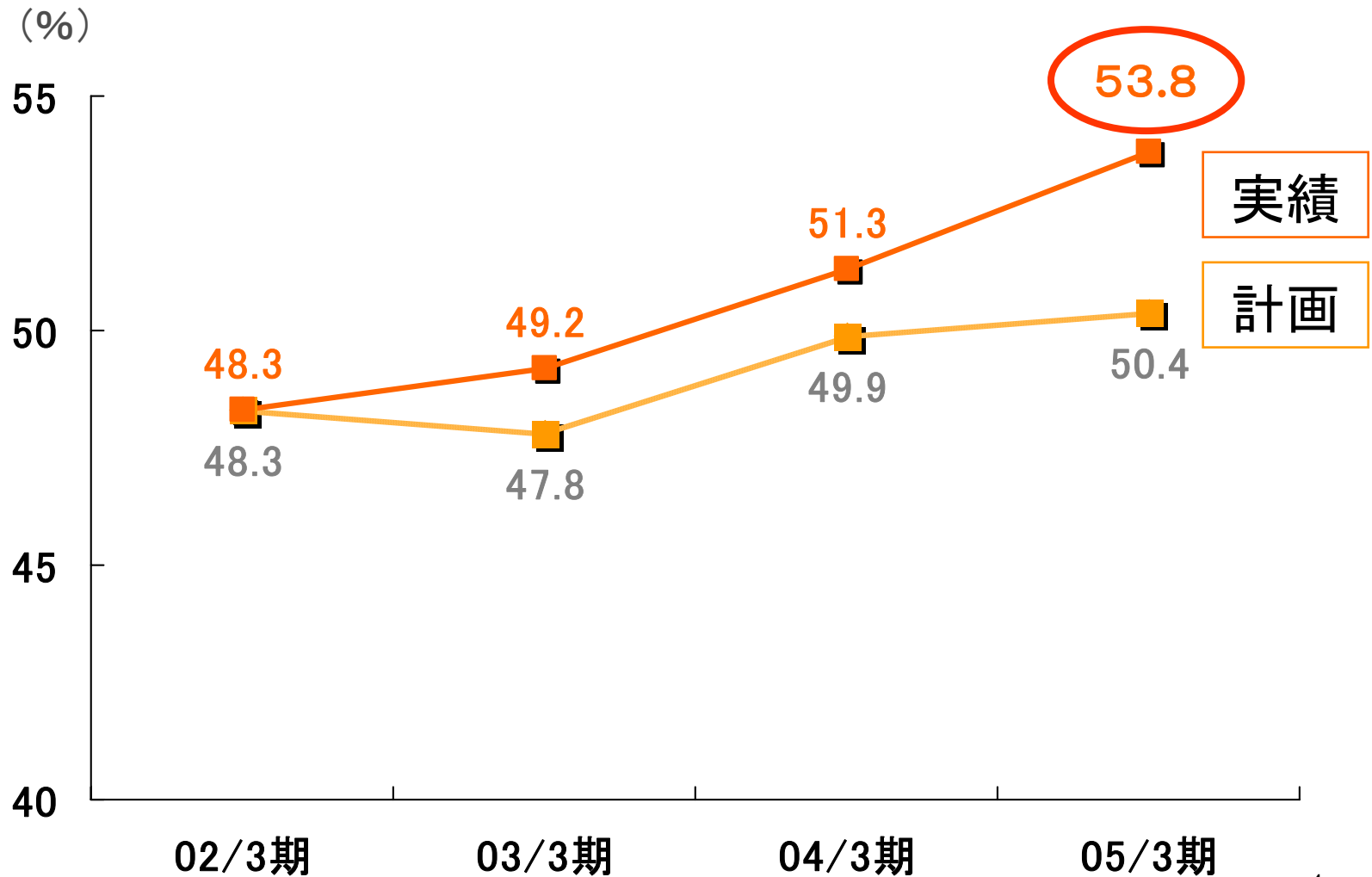
	04／3期	05／3期	増減率
売上高	2152	2300	7%
粗利益	1103 (51.3%)	1238 (53.8%)	12%
販管費	736 (34.3%)	767 (33.3%)	4%
営業利益	367 (17.0%)	471 (20.5%)	29%
経常利益	353	471	33%
当期利益	198	271	37%

売上高の推移

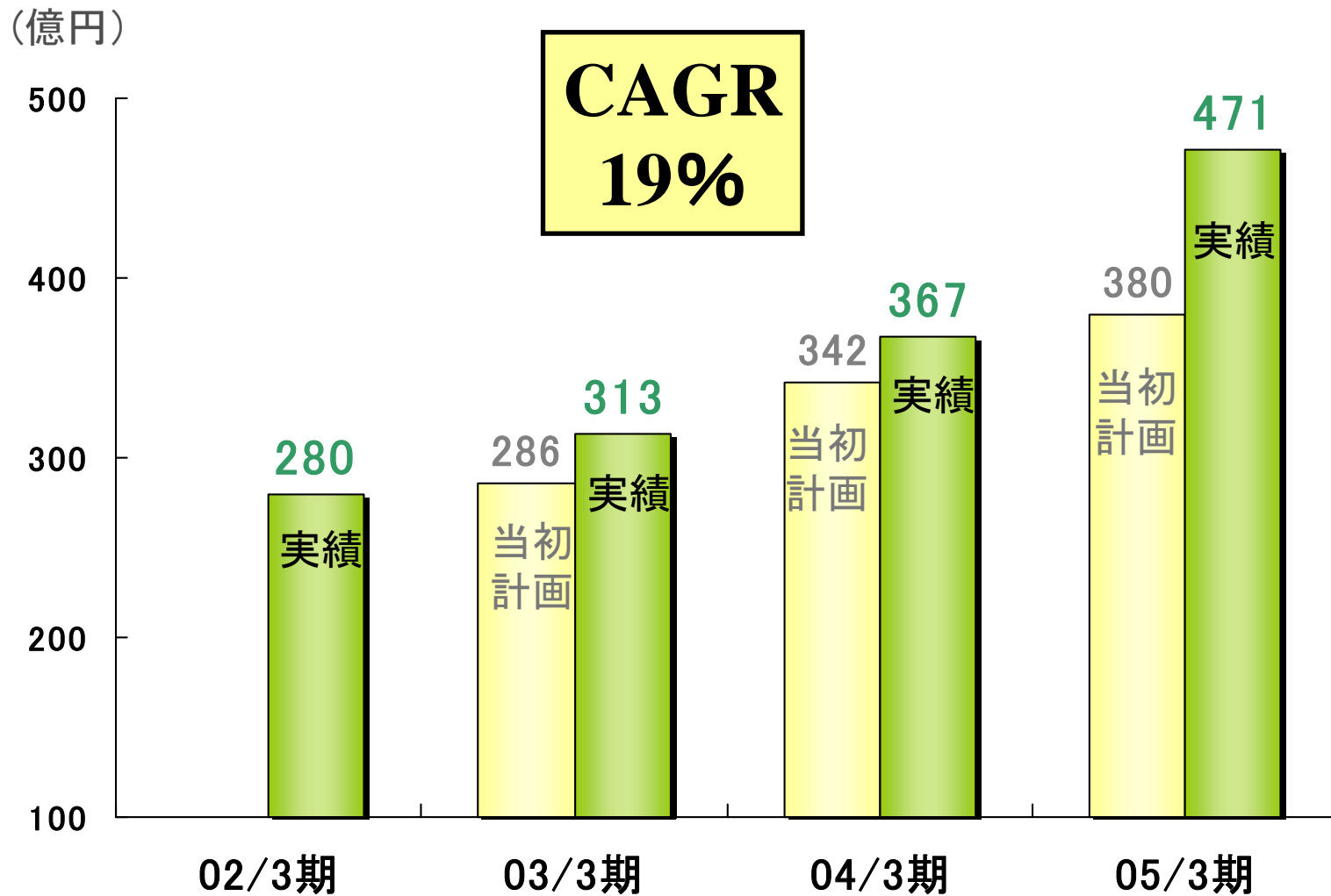
(億円)



粗利益率の改善



営業利益の推移



プロキューブの施策

企業風土改革

社内カンパニー制の導入

事業構造の高付加価値化

アジアへの生産移管

国内工場のコストダウン

販管費の抑制

新中期計画について

激変する経営環境

- 改正薬事法がスタート
- 医療費抑制策の強化
- 「医療経済性」と「医療の質」
- 海外大型再編の波



中期目標：売上3000億円

パラダイムシフトの中、新しいステージへの飛躍

STeP UP 2007



Solution

- ① 既存ビジネスの進化
(トータルシステム)

Technology

- ② 新しい治療システムの開発
(新商品)

Professional

- ③ カンパニーの発展

「既存ビジネスの進化」

- 市場ニーズとのギャップを先取り
- 医療現場に密着している当社の強み
- ハードとソフト、キット化、システム提案

「新しい治療システムの開発」

- 新しい治療法をもたらすオンリーワン商品
- 基盤ビジネス：
栄養療法、予防医療
- 先端ビジネス：
薬とデバイスの融合、手術ロボット、再生医療
- 日本発の革新的な商品を世界に

「カンパニーの発展」

- ▶ カンパニーの専門性強化と、
総合力の組み合わせ
- ▶ カンパニーのグローバル化
- ▶ 新規成長市場の開拓

企業価値増大に向けて

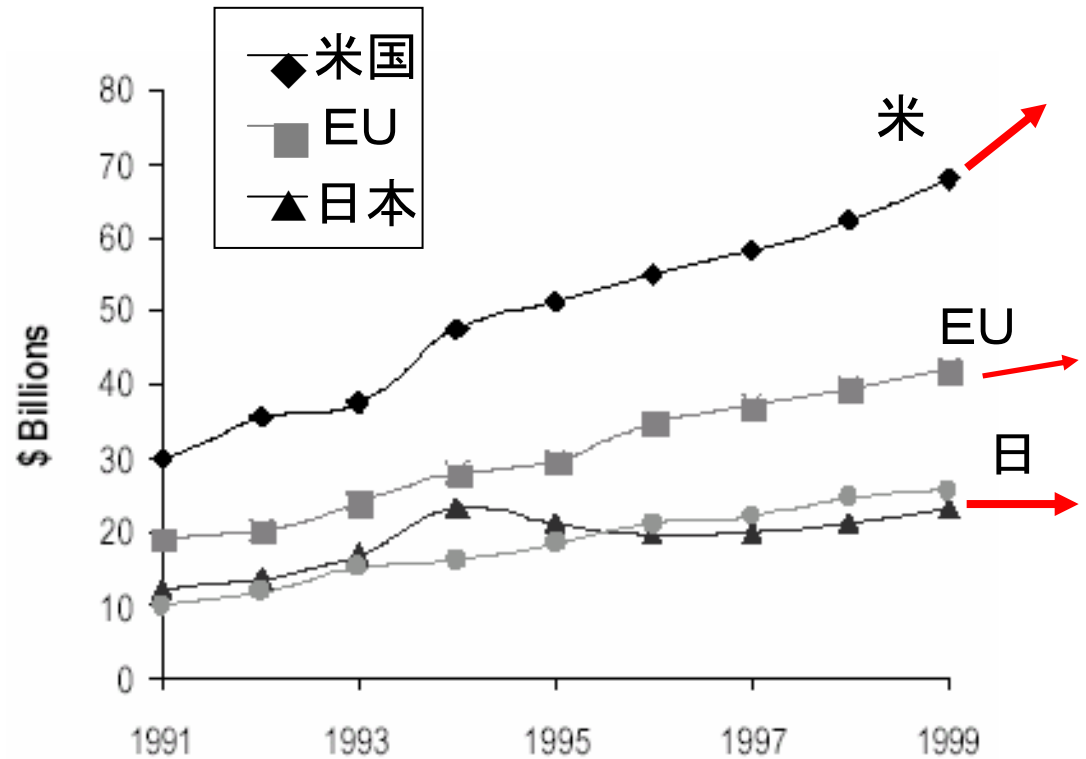
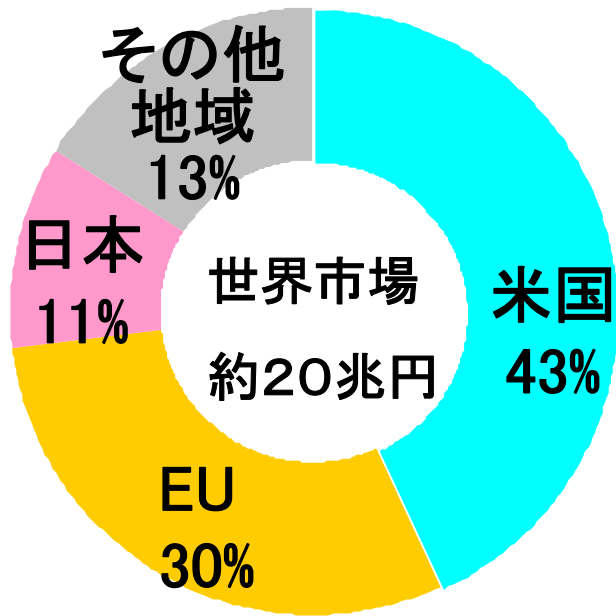
- 売上3000億円への拡大
- 全社的なコストダウンの推進
- ROEの15%水準への引き上げ
- さらなる成長で世界に存在感のある企業へ

医療機器産業発展のために

METIS 重点テーマ

- I 遺伝子チップ等の簡易診断機器
- II 分子イメージングによる診断・治療
- III DDS・標的治療
- IV 手術ロボット
- V バイオニック医療機器
- VI 人工心臓
- VII 再生医療

世界の医療機器市場



日本発の新医療を創る

世界一の技術基盤

世界一のDrの腕

匠の技の融合



～テルモメディカルプラネックス～

医療機器産業発展のために

テルモの社会的使命

新しいステージへの挑戦

《おことわり》

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が、記載されている予想・見通しとは異なる場合があります。ご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などがあります。